

| | | | | | |
|---------------------------|-------------------------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 国際社会関係論 | | | | |
| 担当者氏名 | 新山 智基 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2・選択必修 | 開講年次・開講期 | 3年・春期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎ 専門応用-1 国際社会に貢献できる人材育成 | | | | |

《授業の概要》

社会や経済、政治など多様な面で国際社会は深く結びついて
いる。本講義では、こうした関係について歴史的な事柄に加え、最新の国際情勢を取り上げながら多様な視点での国際社会
の関係について考えていく。例えば、近年注目されている「持
続可能な開発目標（SDGs）」を題材に、貧困や飢餓、教育、健
康、環境などの事例を取り上げながら講義を展開する。

《授業の到達目標》

国際社会の動向を把握し、今起こっていることを理解すると
ともに、自分自身でも他者にわかりやすく説明できることを目
指す。また、グローバル社会のなかで多様な価値観や考え方、
困難な状況があることを学び、思考する力を身につける。
（本講義は受講生の興味関心のあるテーマを題材にグルー
プワーク・プレゼンテーションを実施する）

《成績評価の方法》

平常点（授業への参加度）15%
中間理解度確認および講義中の課題 35%
最終課題（レポートおよびプレゼンテーション）50%

《テキスト》

なし。
適宜、参考資料を配布する。

《参考図書》

・佐渡友哲他編（2018）『国際関係論（第3版）』弘文堂
・村上芽、渡辺珠子（2019）『SDGs入門』日本経済新聞出版社
その他、講義中に適宜紹介する。

《授業時間外学習》

講義中に紹介する参考書を予習・復習すること。紹介した参
考書などから講義中に課題を課すことがある。各自、テレビや
新聞、インターネット、SNS等を通じて、関連したニュースに
対して注目すること。本講義では、最終課題としてレポートに
加えて、プレゼンテーションを課す。その準備にも十分な作業
時間を確保すること。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 |
|----|----------------------|----------------------------------|
| 1 | イントロダクション | 本講義の目的・意義、進め方、評価方法などの説明を行う |
| 2 | 国家の誕生と国際関係の歴史（1） | 国民国家（国家）の成り立ちを歴史的に学ぶ |
| 3 | 国家の誕生と国際関係の歴史（2） | 国際社会関係に関する理論を学ぶ |
| 4 | グローバル化と国際社会 | グローバル化をキーワードに経済や文化について国際関係を紐解く |
| 5 | 国際移動時代の到来 | 国際移動、移民、難民などをキーワードに国際関係について考える |
| 6 | 日本と国際社会とのかかわり（1） | 先進国との関係について学ぶ |
| 7 | 日本と国際社会とのかかわり（2） | 途上国との関係について学ぶ |
| 8 | 日本の国際貢献（1） | 国際協力分野での国際社会との結びつきについて学ぶ |
| 9 | 日本の国際貢献（2） | アフリカ地域への事例をもとに解説する |
| 10 | SDGsにみる国際社会とのかかわり（1） | 「貧困・飢餓」をテーマに国際社会との関係について学ぶ |
| 11 | SDGsにみる国際社会とのかかわり（2） | 「健康・保健」をテーマに国際社会との関係について学ぶ |
| 12 | SDGsにみる国際社会とのかかわり（3） | 「教育」をテーマに国際社会との関係について学ぶ |
| 13 | SDGsにみる国際社会とのかかわり（4） | 「環境」をテーマに国際社会との関係について学ぶ |
| 14 | SDGsにみる国際社会とのかかわり（5） | 「平和・紛争」をテーマに国際社会との関係について学ぶ |
| 15 | まとめ | これまでの講義をもとに、国際社会関係の意義・あり方について考える |